

令和5年度
第3回志布志市総合教育会議

令和6年1月15日（月）
午後2時30分～午後3時30分予定
志布志庁舎4階 庁議室

< 会 次 第 >

1 開 会

2 市長あいさつ

3 報 告

(1) 令和6年度組織機構再編計画の進捗と今後の取組について

4 協 議

(1) 鹿児島県立特別支援学校の分置について

(2) 伊崎田学園の義務教育学校化（今後の在り方）について

5 その他

6 閉 会

令和5年度 第3回志布志市総合教育会議 関係者名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	市 長	下 平 晴 行	
2	教育委員	松 原 治 美	
3	教育委員	島 津 陽 亮	欠席
4	教育委員	津 町 千 代 子	
5	教育委員	益 田 裕 子	
6	教育長	福 田 裕 生	
7	副市長	溝 口 猛	事務局
8	総務課長	小 山 錠 二	
9	教育総務課長	岡 崎 康 治	
10	教育総務課長補佐	児 玉 雅 史	
11	学校教育課長	上 木 勝 憲	
12	学校教育課参事兼指導係長兼指導主事	久 木 崎 敢	
13	学校教育課参事兼指導主事	赤 塚 健 志	
14	学校教育課参事兼指導主事	森 蘭 直 也	
15	学校教育課長補佐兼学校教育係長	川 崎 喜 代 人	
16	生涯学習課長	江 川 一 正	
17	総務課行政グループリーダー	下 出 克 也	
18	総務課行政グループサブリーダー(行政改革推進担当)	畑 山 浩 一 郎	

鹿児島県特別支援学校の分置について

(令和3年度からの取組 令和6年1月5日現在)

年月	誘致に向けた取組
令和3年6月	○ 志布志市へ特別支援学校設置に向けての活動前アンケートを実施 【志布志市に特別支援学校をつくる会】
令和3年10月	○ 県立特別支援学校（分校）誘致に向けた取組について政策調整会議を実施 【市長部局・学校教育課】
令和3年11月	○ 志布志市へ特別支援学校設置の陳情書を志布志市議会へ提出 【志布志市に特別支援学校をつくる会】 ○ 「育ちにくさを持つ子ども」及び「障がい児」とその「家族」が安心して暮らせる地域生活を求める陳情書を市議会に提出 【にこにこはうす親の会】
令和3年12月	○ 県立特別支援学校（分校）誘致に向けた志布志市の現状等について県教育長へ説明 【副市長，教育長】 ○ 大隅地域振興局での協議の場において県立特別支援学校誘致に向けた志布志市の状況や取組等を近隣市町に説明 【市長部局・学校教育課：副市長】
令和3年12月	○ 鹿児島県知事及び県教育長へ志布志市内への特別支援学校設置を求める意見書を提出 【志布志市議会】 ○ 知事とのふれあい対話で志布志市へ県立特別支援学校設置について直接依頼 【志布志市に特別支援学校をつくる会】
令和4年2月	○ 県全体の特別支援学校の教育環境の改善に向けた見直し等についての要望書を県知事及び県議会へ提出 ○ 市内各学校へちらし配布 ○ ロータリークラブの方々へ活動の趣旨説明，協力依頼 【志布志市に特別支援学校をつくる会】 ○ 小・中学校の管理職研修会にて特別支援学校誘致について説明 【学校教育課】
令和4年3月	○ 「特別支援学校の誘致」について所信表明に明記 【市長部局】
令和4年4月	○ 鹿児島大学院教育学研究科の教授をアドバイザーとして招聘 【学校教育課】 ○ 県教育長を訪問し，年度始めの挨拶の中で県立特別支援学校（分校）誘致に向けた本市の動向や今後への期待感について説明 【教育長・学校教育課】 ○ 志布志市PTA連絡協議会理事会にて特別支援学校誘致についての説明・協力依頼 【学校教育課】 ○ ロータリー・ライオンズクラブの方々へ活動の趣旨説明，協力依頼 【志布志市に特別支援学校をつくる会・学校教育課】
令和4年5月	○ 志布志市公民館連絡協議会にて特別支援学校誘致について説明・協力依頼 【学校教育課】 ○ 県立特別支援学校（分校）誘致に向けた取組について政策調整会議を実施 【市長部局・学校教育課】

年月	誘致に向けた取組
令和4年6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志布志市に特別支援学校をつくる会代表が本市課長会にて、署名活動への協力依頼 【志布志市に特別支援学校をつくる会、学校教育課】 ○ 特別支援学校誘致の署名活動に向けてのぼり旗作成（市予算で作成）【学校教育課】
令和4年7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志布志市PTA連絡協議会にて特別支援学校誘致の署名活動への協力依頼 【学校教育課】 ○ 7月24日、8月6日に街頭署名活動を実施予定 (新型コロナウイルス感染症拡大のため中止) 【志布志市に特別支援学校をつくる会】
令和4年9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ オータムフェスタ in 蓬の郷における街頭署名活動 【志布志市に特別支援学校をつくる会・学校教育課】
令和4年10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市報しぶし10月号において署名活動への協力依頼 【志布志市に特別支援学校をつくる会・学校教育課】 ○ 総合芸術祭（文化会館）における街頭署名活動 【志布志市に特別支援学校をつくる会・学校教育課・福祉課】 ○ 曾於市・大崎町教育委員会へ署名活動協力依頼 【学校教育課】
令和4年11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県教育庁特別支援教育室長を訪問し、県立特別支援学校誘致に向けた取組の経過報告 【教育長・学校教育課】 ○ 集まった <u>20,285</u> 人分の署名を特別支援学校をつくる会の方々が県教育長に提出 【志布志市に特別支援学校をつくる会・教育長・県議同行】
令和4年12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志布志市議会全員協議会にて、特別支援学校誘致についての説明 【教育長・学校教育課】
令和5年2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島県特別支援学校等の教育環境改善についての提言が出される。【県教育委員会より】
令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学校の教育環境改善に係る訪問（県教育庁特別支援教育室長来庁）【教育長・学校教育課】
令和5年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回鹿児島県特別支援学校等教育環境改善推進協議会整備計画作成部会 【指導主事出席】
令和5年5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県教育庁特別支援教育課訪問（県特別支援教育課長来庁）【教育長・学校教育課】 ○ 県教育庁特別支援教育課市長訪問（県特別支援教育課長来庁）【市長・総務課長・財務課長・総合政策課長・学校教育課】
令和5年6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 志布志市議会全員協議会において説明 【教育長・学校教育課】
令和5年7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市臨時校長会において特別支援学校分置に関する説明 【教育長・学校教育課】 ○ 県特別支援教育課訪問（経緯説明・意見交換）【教育長・学校教育課】 ○ 志布志市立松山小学校に特別支援学校の分置を求める意見書提出 【新橋地区コミュニティ協議会】 ○ 曾於地区特別支援学校分置推進協議会担当者会 【志布志市・曾於市・大崎町（学校教育課長・管理課長・指導主事）】
令和5年8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回曾於地区特別支援学校分置推進協議会（台風接近のため書面開催）【志布志市・曾於市・大崎町特別支援学校分置推進委員】 ○ 伊崎田校区に鹿児島県立特別支援学校の分置要望と伊崎田学園の義

年月	誘致に向けた取組
令和5年9月	<p>務教育学校化に関する署名簿 <u>982人</u>分提出 【伊崎田校区コミュニティ協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回志布志市特別支援学校分置推進協議会 【教育長・学校教育課・推進委員】 ○ 第2回曾於地区特別支援学校分置推進協議会 【志布志市・曾於市・大崎町】 ○ 県教育庁特別支援教育課訪問（意見交換） 【教育長・係長】 ○ 特別支援学校分置候補地に関する説明会（新橋地区コミュニティ協議会） 【学校教育課長・指導主事】 ○ 義務教育学校設置に関する説明（伊崎田小・中学校） 【学校教育課長・係長】 ○ 特別支援学校分置候補地に関する説明（伊崎田校区コミュニティ協議会） 【学校教育課長・係長・指導主事】 ○ 志布志市議会全員協議会説明（分置候補地承認） 【教育長・学校教育課】 ○ 伊崎田校区に鹿児島県立特別支援学校の分置要望と伊崎田学園の義務教育学校化に関する署名簿 <u>306人</u>分提出 【伊崎田校区コミュニティ協議会】
令和5年10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市定例教育委員会において特別支援学校分置に関する説明及び協議（分置候補地承認） 【教育長・学校教育課長】 ○ 第2回市総合教育会議において特別支援学校分置に関する説明及び協議（承認） 【教育長・学校教育課】 ○ 曾於地区における特別支援学校分置候補地を県へ報告（当初4か所 → 修正報告があり最終的に2か所） 【曾於地区特別支援学校分置推進協議会】 ○ 第1回特別支援学校の分置に係る協議（曾於地区） 【県特別支援教育課・曾於地区特別支援学校分置推進協議会】
令和5年11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市定例教育委員会において「伊崎田学園の義務教育学校化に向けた検討について、進め方に関して説明」 【教育長】
令和5年12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市議会定例会一般質問答弁 【市長・教育長】 ○ 第2回鹿児島県特別支援学校等整備計画作成部会 【学校教育課長・教育総務課長補佐・施設係長・指導主事】 ○ 県特別支援教育課・教育次長・教育長訪問 【教育長】



これは志布志市職員が、内部資料として利用するものとし、住民、委託業者等一般に公開してはならない。

令和6年1月15日

伊崎田学園の義務教育学校化(今後の在り方)について

昨年8月及び9月に伊崎田校区コミュニティ協議会から計1,288人の「伊崎田校区に鹿児島県立特別支援学校の分置と伊崎田学園の義務教育学校化に向けた要望書」が提出された。また、県と特別支援学校の分置に関する協議において、県の分置候補地の決定は、3月までに知事が発表する予定になっていると伝えられている。

それらを踏まえて、教育委員会事務局では、伊崎田学園の今後の在り方について、検討を重ねている。

1 義務教育学校と小中一貫校との違い

- ◎ 小学校・中学校の区切りが「ある」か「ない」かである。
- 小中一貫校は区切りがあり、小学校と中学校は別の学校である。それぞれの教職員組織があり、別々の教育目標の設定や9年間を見通した教育課程編成が行われる。
- 義務教育学校は、区切りがなく、1つの組織であるため、1名の校長のもと、9年間を見通した教育目標を掲げ、教職員は小学校・中学校の分け隔てなく児童生徒の指導に当たることができる。(2016年文科省制度化)

2 義務教育学校または小中一貫校(施設一体型)への取組による利点の拡大

- ① 子どもの発達状況に合わせ、4-3-2等柔軟な学年段階の区切りが可能。
- ② 相互乗り入れ授業や縦割りでの行事が行いやすい。
- ③ 子どもたちの状況把握や共有がしやすく、継続的な指導が可能となる。
- ④ 学校組織内の教員数が増えることで、教員間での相談・協力がしやすい。
(マンパワーの確保にもつながる)
- ⑤ PTA組織も一つになることで、保護者の負担軽減につながる。
- ⑥ 学校組織全体の一体化の向上につながる。

3 これからの伊崎田学園について

	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校 中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	
		これからの伊崎田学園	これまでの伊崎田学園
施設の形態	施設一体型 (A案)	施設一体型 (B案)	施設分離型 (現状)
修業年限	9年(前期課程6年・後期課程3年)	小学6年・中学3年	小学6年・中学3年
組織・運営	校長1人 教頭2人(小1・中1) 養教1人 事務1人 ※一つの教職員組織	校長1人(兼務) 教頭2人(小1・中1) 養教2人(小1・中1) 事務2人(小1・中1) ※一つの教職員組織	校長2人(小1・中1) 教頭2人(小1・中1) 養教2人(小1・中1) 事務2人(小1・中1) ※それぞれの教職員組織
免許状	原則 小・中学校の両免許状を併有 ※ 小学校免許状で前期課程の指導可 ※ 中学校免許状で後期課程の指導可	所属する学校の免許状を保有 ※所有免許状に応じた指導	所属する学校の免許状を保有 ※所有免許状に応じた指導
教育課程	※ 9年間の教育目標の設定 ※ 9年間の系統性に配慮がなされている教育課程の編成		
独自教科設定	○	○	○
乗り入れ授業	◎ (移動・調整が改善)	○ (移動・調整が改善)	△ (移動・調整に課題)

4 教職員数・PTA組織・学校行事等の違い

職 種	義務教育学校（A案）	伊崎田小・中【一体型】（B案）	伊崎田小・中【分離型】（現状）	
校 長	1人	1人（兼務）	1人（小）	1人（中）
教 頭	2人（小1・中1）	2人（小1・中1）	1人（小）	1人（中）
養護教諭	1人	2人（小1・中1）	1人（小）	1人（中）
事務職員	1人	2人（小1・中1）	1人（小）	1人（中）
所有免許	原則小・中学校両方の免許	所有免許に応じた教育活動可	所有免許に応じた教育活動可	
職員室	1（一体化）	1（一体化）	1（小）	1（中）
P T A	1（一体化）	1（一体化）	1（一体化）	
入学式 卒業式	1年：入学式 6年：前期終了式 7年：進級式 9年：卒業式	小1：入学式 小6：卒業式 中1：入学式 中3：卒業式	小1：入学式 小6：卒業式 中1：入学式 中3：卒業式	小1：入学式 小6：卒業式 中1：入学式 中3：卒業式
運動会 体育祭	* 1年生～9年生の全ての学年が参加 * 1年生～9年生と一緒にできる競技を児童・生徒が考案			
地域との 協働行事	* 地域に一つの学校となることで、協力が得られやすくなる			

* 義務教育学校となると、養護教諭と事務職員がそれぞれ1人体制となる。このことは、本市においても不登校児童生徒が増加傾向にある中で、健全育成に少なからず影響が出ることが予想される。施設一体型の小中一貫校とすることにより、養護教諭・事務職員2人体制で対応することが可能となり、児童生徒や学校全体へのきめ細かな支援や対応が更に充実すると考えられる。

5 義務教育学校や小中一貫校の課題と対応策

課 題	対応策（先進事例に基づく）
①小中学校が共有する特別教室の使用時間の制約	①小中学校で時間割等の調整・使用上のルール化
②登下校時間、授業時間の違い	②小中での調整、ノーチャイム制導入、休憩時間の調整
③校舎間の移動、活動に伴う児童生徒の安全確保	③低学年用の手すり、防球ネットの設置等
④9年間同じ校舎での生活のため、環境の変化が乏しい。	④教室配置等の工夫
⑤小学生高学年のリーダー性・主体性の育成	⑤リーダーの機会を増やす（行事に応じた小学生の出番）
⑥学校規模の課題は解消されない、人間関係の固定化。	⑥一定の児童生徒数の確保で、学校行事の活性化や多様な学習集団の編制、異年齢交流の機会の拡大での効果

6 今後の方向性

- (1) 教職員の資質向上・・・専門性・同僚性
 - ・同一施設及び隣接教室（職員室等）による専門性・同僚性の醸成
 - ・『チーム伊崎田』を基にした相互乗り入れ授業による授業力向上・教科担任制の日常化
- (2) 学校組織全体の一体化・統率性・総合力の向上
 - ・校長一人による目標の明確化
 - ・校長一人による組織内の意思統一と具体策の推進
 - ・組織内の教員数増加による相談・協力体制の強化
- (3) 施設・設備の維持管理の効率化
 - ・施設一体型による施設の維持管理の促進

7 今後のスケジュール(案)

【令和5年度】

- (1) 1月15日 **総合教育会議**
伊崎田学園の義務教育学校化（今後の在り方）に向けた協議
- (2) 1月30日 **定例教育委員会**
伊崎田学園の義務教育学校化（今後の在り方）に向けた協議（今後の方針等）
- (3) 2月下旬 **市議会定例会**
令和6年度予算に伊崎田学園施設改修に係る調査設計業務を計上
- (4) 3月 **県が分置候補地を発表**
- (5) 3月19日 **定例教育委員会**
伊崎田学園の今後の方針（案）について協議
- (6) 3月下旬 **市議会全員協議会**
県の分置候補地決定の内容及び伊崎田学園の今後の方針（案）を報告

【令和6年度】

- (1) 4月 **保護者説明会の開催**
伊崎田校区の未就学児から中学生の保護者に対して、伊崎田学園の今後の方針（案）を説明。併せて、保護者へ希望等調査を実施。
- (2) 時期未定 **総合教育会議**
伊崎田学園の今後の方針を協議
- (3) 時期未定 **定例教育委員会**
伊崎田学園の今後の方針を決定

8 伊崎田学園の今後の方針を決定するに当たっての留意事項

伊崎田校区コミュニティ協議会の総意として義務教育学校化の要望書が提出されているが、更に内部協議を重ねるとともに、当事者である保護者に方針等を丁寧に説明し、理解を得る必要がある。